

体育学専攻

領域科目(体育・スポーツ学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH128	スポーツ産業学演習I	2	3.0	1	春AB秋AB秋C	水1 水2,3	5C412	仲澤 眞, 嵯峨 寿	スポーツ産業研究に必要な理論や実務的な知見について学ぶとともに、当該領域の研究手法論について学習する。本授業はいずれの回においても複数指導体制(299 仲澤眞、257 嵯峨寿)で行い、主要先行研究の解説、主要な研究方法論の解説、研究計画の立案についての指導を通して、学位論文の作成に必要な基礎的な内容の習得を目的とする。	OATP7G1と同一。 オンライン(対面併用型)
01EH167	スポーツ産業学演習II	7	3.0	2	通年	随時		仲澤 眞, 嵯峨 寿	研究テーマの設定、先行研究のレビュー、研究の意義、研究の方法等、修士論文の作成に必要な研究指導を行う。	オンライン(対面併用型)
01EH145	体育・スポーツ学特別演習II	2	3.0	2	春AB	随時		清水 紀宏	年度途中で修了する体育・スポーツ学分野の学生は、領域科目の個別研究領域の演習IIの代わりに、この科目を履修する。スポーツに関する国内外の専門文献、研究資料などの講読し、それについてディスカッションを行う。スポーツに関する研究法について学習し、研究を遂行する上で必要な基本概念、手段、手順などについて深く学習し、研究力を向上させる。関連分野の研究成果について議論を深め、修士学位論文を作成する。自分自身のテーマを決定し、研究遂行する。	年度途中で修了予定者のみ履修可 OATP7M2と同一。 対面

領域科目(健康体力学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH271	体育測定評価学演習II	2	3.0	2	通年	随時			目標:運動能力に関する実際の研究データの分析を通して、基礎的および先端的な研究方法を実践する。 授業計画の概要:測定されたデータからデータセットを作成し、データチェックし、欠損値を処理して、記述統計量を分析する。相関行列を算出して、多変量統計解析により、尺度特性を分析する。従属変数と独立変数から、平均値構造から要因の効果を測定する。論文を参照して、方法と結果を記述する。	OATP8H2と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH283	健康体力学特別演習II	2	3.0	2	春AB	随時		大藏 倫博	年度途中で修了する健康体力学分野の学生は、領域科目の個別研究領域の演習IIの代わりに、この科目を履修する。研究成果について議論を深め、修士学位論文を作成する。	年度途中で修了予定者のみ履修可 OATP8Q2と同一。 オンライン(オンデマンド型)

領域科目(コーチング学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH292	コーチング論・トレーニング学演習II	2	3.0	2	通年	随時		前村 公彦, 松元剛, 河合 季信, 谷川 聡, 木内 敦詞	スポーツ・コーチング及びトレーニングに関して、より発展的な内容に関して、内外文献の抄読や実践を行い、研究手法を身につけ論文作成能力を養う。	OATP9A2と同一。 対面
01EH392	野外運動論演習II	2	3.0	2	通年	随時		坂本 昭裕, 渡邊 仁	野外運動・野外教育分野における修士論文の作成に向けて、まず、興味関心のある実践や研究について国内外の動向を把握し、自分自身の研究課題を探求する。具体的には、関連する先行研究についてレビューし、研究課題あるいは、テーマの設定を行う。次に、研究・調査を計画し、研究課題を解決するための適切な研究方法論について学修し関連の知識を得る。これらについて、毎回プレゼンテーションを行い、研究を進める上での諸問題について討議する。	OATP9S2と同一。 対面
01EH365	コーチング学特別演習II	2	3.0	2	春AB	随時		渡辺 良夫	年度途中で修了するコーチング学分野の学生は、領域科目の個別研究領域の演習IIの代わりに、この科目を履修する。専門文献、研究資料などの講読し、それについてディスカッションを行う。スポーツに関する研究法について学習し、研究を遂行する上で必要な基本概念、手段、手順などについて深く理解し、研究力を向上させる。関連分野の研究成果について議論することによって自分自身のテーマを決定し、修士学位論文を作成する。	年度途中で修了予定者のみ履修可 OATP9U2と同一。

コース科目(スポーツ文化・経営政策コース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
------	-----	------	-----	--------	------	-----	----	------	------	----

01EH411	体育・スポーツ哲学	1	1.0	1	秋B	集中	5C301	深澤 浩洋	<p>体育ならびにスポーツの概念、現状、背景となる思想・社会的状況について洞察する力を養うことを目指す。体育・スポーツ概念の鍵の一つである身体の捉え方や身体の経験をめぐって、体育哲学とスポーツ哲学のそれぞれのスタンスから講義を行う。</p> <p>スポーツに関しては、身体的契機、知的契機、感性的契機の三契機から、また、体育に関しては、関係性、重層性、超越性という三つの視点から論ずる。</p> <p>こうした基本的な考え方を踏まえつつ、体育・スポーツに関する現代の特徴を取り上げ、哲学的に考察、ディスカッションする。</p>	OATP102と同一。 オンライン(オンデマンド型) 一部対面で行う。
01EH412	スポーツ史学	4	1.0	1	秋B	集中	5C316	大林 太郎, 山口 拓	<p>古代の人類が創り出した「スポーツ」の起源(ルーツ)を探り、また近代スポーツの誕生と発展の歴史の変遷を検討しつつ、史実を根拠とした現代の体育・スポーツ界における諸課題へのアプローチを試みる。体育・スポーツに関する歴史学および文化人類学、開発学の理論と実践的研究についても取り上げる。</p>	対面
01EH413	武道学	4	1.0	1・2	春AB	水2		酒井 利信	<p>武道は日本の歴史の中で育まれてきた固有の運動文化であり、日本文化のアイデンティティーを自覚するには必須の学習課題である。本授業では、特に刀剣思想を題材とし、東アジアを視野に入れた日本精神史としての武道を学ぶ。</p>	オンライン(オンデマンド型)
01EH438	スポーツ政策学	1	1.0	1	春AB	水3	5C316	齋藤 健司, 成瀬 和弥	<p>スポーツ政策の現状と課題に対する理解を深めるとともに、スポーツ政策学の理論と視座を考える。</p>	OATP107と同一。 対面
01EH401	フェアプレイ論	1	1.0	1・2	秋C	木5, 6		深澤 浩洋	<p>フェアネスの歴史的概観やフェアプレイを奨励する運動を踏まえ、フェアプレイが主張される意味について、複数の価値観、道徳観から考察する。また、フェアプレイを奨励する運動に言及する。実際にフェアプレイに徹するスポーツパーソンを育成するにはどうしたらよいか、どのようにフェアプレイ教育を展開していけばよいかということについて考察し、自分なりの見解を論理的に展開できることを目標とする。</p> <p>フェアネスの概念、スポーツのルールとエトス、フェアプレイの歴史、フェアプレイをめぐる問題の語られ方(個人と組織)、アンフェアの背景、フェアプレイキャンペーン、フェアプレイ奨励の方策、フェアプレイ教育の構想</p>	OATP110と同一。 対面(オンライン併用型)
01EH417	身体文化論	1	1.0	1・2	春C	集中	5C308	深澤 浩洋, 大林 太郎	<p>伝統文化、体操、体育、スポーツなどを具体的に取り上げながら、文化的社会的に構築される身体と身体観について理解を深める。文化社会学、歴史学、哲学を基礎としながら領域を越えて議論し、身体文化に対するアプローチを切り開く。</p>	OATP111と同一。 対面 各日9:00-17:00
01EH433	スポーツマーケティング論	1	1.0	1・2	春C	集中	5C213	清水 紀宏, 醍醐 笑部	<p>スポーツマーケティングの目的、方法に関する基礎理論を理解するとともに、商業スポーツ施設経営やスポーツイベント経営など具体的なスポーツ経営を事例にした検討を通して、実践的な考え方を養う。</p>	OATP143と同一。 対面 原則として対面を実施するが、場合によってはオンライン(同時双方向型)を併用する。
01EH432	地域スポーツ経営論	1	1.0	1・2	秋AB	水2	5C213	清水 紀宏	<p>地域スポーツをめぐる政策動向とその背景をふまえて、地域スポーツクラブの現代的意義とその組織化の方法論について理解する。まず、地域スポーツ経営領域の特質と固有のミッションを基準としながら、わが国におけるクラブ育成状況やクラブマネジメントの実態を評価する。次に、この現状評価とクラブ理念型との乖離を埋めるクラブの戦略的課題を特定化する。さらに、経営課題を克服するための組織マネジメントの要点を、いくつかのクラブ先進事例から読み解くことで、コミュニティ振興とスポーツ振興の同時達成の方法を解説する。</p>	西暦奇数年度開講。 OATP141と同一。 対面
01EH439	スポーツリスクマネジメント論	1	1.0	1	秋AB	火4		齋藤 健司	<p>スポーツ活動におけるリスクマネジメント理論の応用を検討するとともに、スポーツ事故の法的責任、安全対策および事故防止策についての理解を深める。リスクマネジメントの枠組み、プロセスなどの理論とそのスポーツへの応用、体育・スポーツ事故の統計データと事故原因、突然死、頭部外傷、脳震盪、熱中症、溺水事故、自然災害などの原因と対策、中止基準、健康調査、スポーツ事故の法的責任、スポーツ施設の法的責任、免責同意書等の法的防御書類などについて、事故事例及び判例を交えて解説する。</p>	OATP142と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH423	スポーツビジネス論	4	1.0	1・2	秋AB	木4		仲澤 眞, 嵯峨 寿, 高橋 義雄	<p>(1) プロスポーツの運営や(2) スポーツメーカーのブランディング、(3) スポーツツーリズムなどを事例に、スポーツとビジネスの関係について理解を深めていく講義である。</p>	オンライン(オンデマンド型)

01EH424	スポーツを通じた開発論	4	1.0	1	春AB	火3		山口 拓, 佐藤 貴弘	国際社会では、複雑に相互依存が深化する世界構造の下で、社会課題を改善するために、「地域・地球規模の連携」、「社会関係資本の構築」、「国際的課題の改善」を求める「スポーツを通じた開発」或は「開発と平和のためのスポーツ」行動が地球規模的に展開され始めている。 本講座では、国内外の課題を探索し、その課題に対して採られる「スポーツを通じた開発」の事例を各専門領域の理論によって読み解くために議論を交わしながら検討する。 (1) 既存研究によるケースの批評的検討(3回)、 (2) 課題的検討(2回)、(3) 方法論的検討(2回)、 (4) 実践的検討(3回)	オンライン(オンデマンド型) 同時双方向型も併用する。
01EH425	スポーツメディア論	1	1.0	1・2	秋B	集中		清水 諭, 下竹 亮志	現代社会におけるスポーツイベントとメディアの親和性について、その歴史について学習し、映像メディアを介して表象化される人種、ジェンダー、ナショナルリティの諸問題について理解を深める。 1. スポーツイベントの成立構造について、スポーツの組織と連盟、メディア、資本主義企業、そして代理店の関係から説明することができるようにする。 2. 身体パフォーマンスをもとにした集約的想像力と表象、及びその文化政治について例をあげながら説明することができるようにする。 3. 人間とメディアとの関係について、歴史を踏まえて、例をあげながら説明することができるようにする。	OATP117と同一。 オンライン(同時双方向型) 各日9:00-17:00
01EH427	スポーツ文化・経営政策コースインターンシップ春	3	1.0	1・2	春C夏季休業中	随時		インターンシップ担当教員	春学期から夏季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、行政機関、スポーツ施設など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	同一コースの履修は、春または秋のどちらか1つとする。 OATP131と同一。
01EH428	スポーツ文化・経営政策コースインターンシップ秋	3	1.0	1	秋C春季休業中	随時		インターンシップ担当教員	秋学期から春季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、行政機関、スポーツ施設など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	同一コースの履修は、春または秋のどちらか1つとする。 OATP132と同一。

コース科目(健康・スポーツ教育コース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH465	スポーツカウンセリング論	1	1.0	1	春AB	水2		坂入 洋右	カウンセリングの基本的な理論と技法を理解するとともに、スポーツ競技者や生徒や一般成人の心身の健康増進および競技や日常生活におけるパフォーマンスの向上を目的とした指導や援助の基本的技術を学ぶ。スポーツ競技者や生徒や一般成人の心身の問題の改善やパフォーマンス向上を目的とした心理的サポートとして、指導者や援助者に必要なカウンセリングの理論と方法を、健康心理学およびスポーツ心理学の最新の知見を踏まえて学ぶ。	AT必修科目 OATP204と同一。 AT必修科目: オンライン(同時双方向型)
01EH621	トレーニング学	1	2.0	1	春AB秋AB	木1		前村 公彦, 谷川 聡	スポーツトレーニングを推進するための適切な目標と課題の設定法、課題解決法や手段の選択・創造法、時間資源と時系列的な関連性を考慮した計画立案法、効果的なトレーニング実践法、トレーニング効果のアセスメント法に関する理論を理解し、高度なトレーニング実践を展開できる知を学習する。また、トレーニング学独自の学領域としてのオリジナリティとその研究方法論について学んでいく。	AT必修科目 OAS0203と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH438	スポーツ政策学	1	1.0	1	春AB	水3	5C316	齋藤 健司, 成瀬 和弥	スポーツ政策の現状と課題に対する理解を深めるとともに、スポーツ政策学の理論と視座を考える。	OATP107と同一。 対面
01EH439	スポーツリスクマネジメント論	1	1.0	1	秋AB	火4		齋藤 健司	スポーツ活動におけるリスクマネジメント理論の応用を検討するとともに、スポーツ事故の法的責任、安全対策および事故防止策についての理解を深める。リスクマネジメントの枠組み、プロセスなどの理論とそのスポーツへの応用、体育・スポーツ事故の統計データと事故原因、突然死、頭部外傷、脳震盪、熱中症、溺水事故、自然災害などの原因と対策、中止基準、健康調査、スポーツ事故の法的責任、スポーツ施設の法的責任、免責同意書等の法的防御書類などについて、事故事例及び判例を交えて解説する。	OATP142と同一。 オンライン(オンデマンド型)

コース科目(ヘルスフィットネスコース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH531	スポーツ生理学特講	1	1.0	1	春AB	水2		武政 徹, 西保 岳, 藤井 直人	スポーツ、トレーニング及び健康増進に関わる骨格筋系、呼吸循環及び体温調節系の役割について理解するため、以下のキーワードに関連して解説する。 骨格筋系のキーワード: 重村式トレーニング法、筋肥大、遺伝子ドーピング、サルコペニア、冬眠、レーシングパフォーマンスを上げる遺伝子、老化を遅らせる運動 呼吸循環系のキーワード: ガス交換、酸素摂取量、血管調節、発汗調節、高地トレーニング、暑熱順化、水分調節	AT必修科目 OATP302と同一。 AT必修科目: オンライン(オンデマンド型)
01EH532	スポーツ生化学特講	1	1.0	1	春AB	火1		征矢 英昭, 岡本 正洋, 松井 崇	スポーツ生化学に関する国内外の専門書、文献、研究論文等を講読し、スポーツ生化学の対象領域、基本概念、研究方法などを学習することによって研究に必要な基礎的能力を身に付ける。運動が身心に及ぼす影響とトレーニング効果に関してスポーツ生化学の立場から理解を深め、健康や運動パフォーマンスの維持・増進のメカニズムを理解する。演習の最後に受講生の発表会を行い、教員と受講生の間で討議を行う。参考図書: 脳を鍛えるには運動しかない(NHK 出版)、からだの中からストレスをみる(学会出版センター)、使えるスポーツサイエンス(講談社サイエンティ)	AT必修科目 OATP303と同一。 AT必修科目: オンライン(オンデマンド型)
01EH533	スポーツ栄養学特講	1	1.0	1・2	秋AB	月2		麻見 直美, 下山 寛之	時代に即したスポーツ・運動栄養学への理解を深めるために、運動(身体活動)、トレーニング、スポーツに関連した栄養、食生活、食事摂取基準、酸化ストレス、抗酸化ビタミン、エネルギー代謝、糖代謝、脂質代謝、タンパク代謝、骨(フィーマルアスリートトライアドを含む)、貧血、水分代謝、休養(睡眠・時差)などのトピックスを取りあげて、講義を行う。加えて、スポーツ栄養の今日的現場課題について問題理解と解決策検討について議論する。	AT必修科目 OATP304と同一。 AT必修科目: オンライン(オンデマンド型)
01EH550	健康増進学特講	1	1.0	1・2	春AB	月2	5C302	大藏 倫博	加齢に伴う生活機能の変化と健康との関連に基づき、健康増進(サクセスフルエイジング)に必要なトレーニング法、生活実践法などについて講義する。一般健康者、高齢者、有患者に対する運動処方についても講義する。学習目標は、中年期から高齢期までのヘルスプロモーションのあり方および加齢にともなう体力(生活機能)の低下と健康との関連について理解することである。特に、サクセスフルエイジング、元氣長寿のための運動プログラム、中年期における体重管理の意義、健康におよぼす運動習慣化の効果、保健指導の問題点と健康支援の重要性、統計データから読み解く高齢者問題、生活機能、身体機能と介護予防の関係、認知機能と介護予防の関係、心理社会機能と介護予防の関係について学ぶ。	OAS0202と同一。 オンライン(同時双方向型)
01EH553	スポーツ生理学実験	3	2.0	1・2	春AB秋AB	金4,5		武政 徹, 西保 岳, 藤井 直人	スポーツ、トレーニング及び健康増進に関わる骨格筋系、呼吸循環系の下記のキーワードに関する研究方法を理解することを目的として、実験実習を行う。履修はスポーツ生理学の基礎を学んだものに限る。 骨格筋系のキーワード: 筋肥大、筋持久力増強、筋萎縮を誘導する動物(マウス)実験系、打撲刺激、鍼刺激、切片の免疫組織化学、蛋白質解析(ウエスタンブロット)、mRNA解析(Real-time PCR)、培養骨格筋細胞、細胞外フラックスアナライザー 呼吸循環系のキーワード: 最大酸素摂取量、血管機能測定、呼吸機能測定、体温調節機能	スポーツ生理学特講の受講者に限る 原則、運動生理学領域に所属する学生のみ受講可能とする OATP312と同一。 要相談
01EH554	スポーツ生化学実験	3	2.0	1・2	秋AB	火1,2	5C302	征矢 英昭, 岡本 正洋, 松井 崇	実験を行うことを通して、実験機材の取り扱いかた、研究資料の収集法、実験材料の分析法を身に付ける。これによって、運動と代謝・内分泌応答に関する基礎的測定と評価法を理解し、研究を遂行できる実践能力を養成する。	スポーツ生化学特講の受講者に限る OATP313と同一。 対面
01EH556	体力学実習	3	2.0	1・2	春ABC秋AB	随時		鍋倉 賢治, 木塚 朝博, 小野 誠司, 榎本 靖士	体力科学、体力・運動能力、体力トレーニング、運動遊びなどに関する国内外の学術論文、解説、著書、マニュアルなどを参考に、体力学領域における研究計画、研究方法、プレゼンテーションについて実習する。	体力学領域の所属学生に限る。教室: 5C127 OATP314と同一。 対面
01EH557	健康増進学実習	3	2.0	1・2	春ABC秋AB	随時		大藏 倫博, 渡部 厚一	一般健康者、高齢者、有患者を対象とした健康指標の検査・測定方法およびトレーニング方法の実際を学習する。学習目標は、中年から高齢者、有患者を対象とした健康運動指導法および健康支援法に関する実際を学び、基本的な指導ができるようになることである。	原則として、健康増進学領域の所属学生に限る OATP315と同一。 対面

01EH558	体育測定評価学実習(発育発達学を含む)	3	2.0	1・2						目標:実験や調査のデータを統計分析して、結果を図表でまとめる。スポーツデータサイエンスのデータ分析手法を適用して、試合のプレー、トレーニング分析などのデータから知見をマイニングする。 授業計画の概要:自分の研究データを用いて、実験デザインおよび調査デザインに適合した統計分析手法を適用し、データを分析する。研究論文を参照して、方法を記述し、結果の図表を作成する。データ分析の手続きに従い、従属変数と独立変数、平均値構造と相関構造、因果関係の分析モデルを理解する。	体育測定評価学特講受講者に限る OATP316と同一。 2023年度開講せず。
01EH576	スポーツバイオメカニクス特講	1	1.0	1	秋AB	火4	5C513	藤井 範久		スポーツ動作や様々な基礎的運動をバイオメカニクスの側面から考察するために必要な基礎事項や分析手法、特に逆動力学的計算について解説する。具体的には、並進運動および回転運動における力学的法則を確認した後、剛体リンクモデルによる関節トルク算出手法について解説する。その際に、身体部分慣性特性係数についても解説するとともに、体育総合実験棟において身体運動の計測方法、地面反力の計測方法についても実演を行う。さらに、得られたデータをもとに、動作の変動性係数や動作逸脱度を用いた身体運動を評価する方法を解説する。	OATP402と同一。 AT必修科目。対面
01EH577	スポーツ用具と動きのしくみ	1	1.0	1・2	春AB	金2		小池 関也		スポーツ用具の性能向上のためのしくみについて紹介するとともに、パフォーマンス実現のための動きのしくみ(メカニズム)について解説する。用具として、各種打具、シューズ、各種ボール、水着などを例に挙げ、パフォーマンスに関係する各種特性について、物理的な現象面あるいは生体力学的な視点から解説する。つぎに、スポーツ動作の各種分析手法を紹介したのちに、これらの分析手法を活用して得た各種動作の分析結果から、スポーツ動作における動きのしくみについて解説し、パフォーマンスの発揮メカニズムについて紹介する。	OATP403と同一。 オンライン(同時双方向型)
01EH563	アスレティックトレーナー特講	1	1.0	1・2	春AB	随時		竹村 雅裕, 福田 崇		アスレティックトレーナーの現状を把握し、現在まで発展してきた経緯と遺産を理解する。歴史的背景からみたアスレティックトレーナー成り立ちや現代社会における特徴をまとめ、その将来を展望する能力を養う。	AT必修科目 OATP412と同一。 AT必修科目。対面(オンライン併用型)
01EH566	テーピング・マッサージ実習	3	1.5	1・2	秋B	集中	5C213	竹村 雅裕, 福田 崇		テーピング及びマッサージを実施する上での運動学的、解剖学的、生理学的な基礎知識や方法について解説しながら、実習を行う。	AT必修科目 対面 各日9:00-17:00
01EH621	トレーニング学	1	2.0	1	春AB秋AB	木1		前村 公彦, 谷川 聡		スポーツトレーニングを推進するための適切な目標と課題の設定法、課題解決法や手段の選択・創造法、時間資源と時系列的な関連性を考慮した計画立案法、効果的なトレーニング実践法、トレーニング効果のアセスメント法に関する理論を理解し、高度なトレーニング実践を展開できる知を学習する。また、トレーニング学独自の学領域としてのオリジナリティーとその研究方法論について学んでいく。	AT必修科目 OASO203と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH465	スポーツカウンセリング論	1	1.0	1	春AB	水2		坂入 洋右		カウンセリングの基本的な理論と技法を理解するとともに、スポーツ競技者や生徒や一般成人の心身の健康増進および競技や日常生活におけるパフォーマンスの向上を目的とした指導や援助の基本的技術を学ぶ。スポーツ競技者や生徒や一般成人の心身の問題の改善やパフォーマンス向上を目的とした心理的サポートとして、指導者や援助者に必要なカウンセリングの理論と方法を、健康心理学およびスポーツ心理学の最新の知見を踏まえて学ぶ。	AT必修科目 OATP204と同一。 AT必修科目。オンライン(同時双方向型)
01EH439	スポーツリスクマネジメント論	1	1.0	1	秋AB	火4		齋藤 健司		スポーツ活動におけるリスクマネジメント理論の応用を検討するとともに、スポーツ事故の法的責任、安全対策および事故防止策についての理解を深める。リスクマネジメントの枠組み、プロセスなどの理論とそのスポーツへの応用、体育・スポーツ事故の統計データと事故原因、突然死、頭部外傷、脳震盪、熱中症、溺水事故、自然災害などの原因と対策、中止基準、健康調査、スポーツ事故の法的責任、スポーツ施設の法的責任、免責同意書等の法的防御書類などについて、事故事例及び判例を交えて解説する。	OATP142と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH433	スポーツマーケティング論	1	1.0	1・2	春C	集中	5C213	清水 紀宏, 醍醐 笑部		スポーツマーケティングの目的、方法に関する基礎理論を理解するとともに、商業スポーツ施設経営やスポーツイベント経営など具体的なスポーツ経営を事例にした検討を通して、実践的な考え方を養う。	OATP143と同一。 対面 原則として対面で実施するが、場合によってはオンライン(同時双方向型)を併用する。

コース科目(アスレティックコンディショニングコース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
------	-----	------	-----	--------	------	-----	----	------	------	----

01EH533	スポーツ栄養学特講	1	1.0	1・2	秋AB	月2		麻見 直美, 下山 寛之	時代に即したスポーツ・運動栄養学への理解を深めるために、運動(身体活動)、トレーニング、スポーツに関連した栄養、食生活、食事摂取基準、酸化ストレス、抗酸化ビタミン、エネルギー代謝、糖代謝、脂質代謝、タンパク代謝、骨(フィエールアスリートトライアードを含む)、貧血、水分代謝、休養(睡眠・時差)などのトピックスを取りあげて、講義を行う。加えて、スポーツ栄養の今日的現場課題について問題理解と解決策検討について議論する。	AT必修科目 OATP304と同一。 AT必修科目: オンライン(オンデマンド型)
01EH576	スポーツバイオメカニクス特講	1	1.0	1	秋AB	火4	5C513	藤井 範久	スポーツ動作や様々な基礎的運動をバイオメカニクスの側面から考察するために必要な基礎事項や分析手法、特に逆動力学的計算について解説する。具体的には、並進運動および回転運動における力学的法則を確認した後、剛体リンクモデルによる関節トルク算出手法について解説する。その際に、身体部分慣性特性係数についても解説するとともに、体育総合実験棟において身体運動の計測方法、地面反力の計測方法についても実演を行う。さらに、得られたデータをもとに、動作の変動性係数や動作逸脱度を用いた身体運動を評価する方法を解説する。	OATP402と同一。 AT必修科目: 対面
01EH577	スポーツ用具と動きのしくみ	1	1.0	1・2	春AB	金2		小池 関也	スポーツ用具の性能向上のためのしくみについて紹介するとともに、パフォーマンス実現のための動きのしくみ(メカニズム)について解説する。用具として、各種打具、シューズ、各種ボール、水着などを例に挙げ、パフォーマンスに関係する各種特性について、物理的な現象面あるいは生体力学的な視点から解説する。つきに、スポーツ動作の各種分析手法を紹介したのちに、これらの分析手法を活用して得た各種動作の分析結果から、スポーツ動作における動きのしくみについて解説し、パフォーマンスの発揮メカニズムについて紹介する。	OATP403と同一。 オンライン(同時双方向型)
01EH563	アスレティックトレーナー特講	1	1.0	1・2	春AB	随時		竹村 雅裕, 福田 崇	アスレティックトレーナーの現状を把握し、現在まで発展してきた経緯と遺産を理解する。歴史的背景からみたアスレティックトレーナー成り立ちや現代社会における特徴をまとめ、その将来を展望する能力を養う。	AT必修科目 OATP412と同一。 AT必修科目: 対面(オンライン併用型)
01EH566	テーピング・マッサージ実習	3	1.5	1・2	秋B	集中	5C213	竹村 雅裕, 福田 崇	テーピング及びマッサージを実施する上での運動学的、解剖学的、生理学的な基礎知識や方法について解説しながら、実習を行う。	AT必修科目 対面 各日9:00-17:00
01EH621	トレーニング学	1	2.0	1	春AB秋AB	木1		前村 公彦, 谷川 聡	スポーツトレーニングを推進するための適切な目標と課題の設定法、課題解決法や手段の選択・創造法、時間資源と時系列的な関連性を考慮した計画立案法、効果的なトレーニング実践法、トレーニング効果のアセスメント法に関する理論を理解し、高度なトレーニング実践を展開できる知を学習する。また、トレーニング学独自の学領域としてのオリジナリティーとその研究方法論について学んでいく。	AT必修科目 OAS0203と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH531	スポーツ生理学特講	1	1.0	1	春AB	水2		武政 徹, 西保 岳, 藤井 直人	スポーツ、トレーニング及び健康増進に関わる骨格筋系、呼吸循環及び体温調節系の役割について理解するため、以下のキーワードに関連して解説する。 骨格筋系のキーワード: 重村式トレーニング法、筋肥大、遺伝子ドーピング、サルコペニア、冬眠、レーシングパフォーマンスを上げる遺伝子、老化を遅らせる運動 呼吸循環系のキーワード: ガス交換、酸素摂取量、血管調節、発汗調節、高地トレーニング、暑熱順化、水分調節	AT必修科目 OATP302と同一。 AT必修科目: オンライン(オンデマンド型)
01EH532	スポーツ生化学特講	1	1.0	1	春AB	火1		征矢 英昭, 岡本 正洋, 松井 崇	スポーツ生化学に関する国内外の専門書、文献、研究論文等を講読し、スポーツ生化学の対象領域、基本概念、研究方法などを学習することによって研究に必要な基礎的能力を身に着ける。運動が身心に及ぼす影響とトレーニング効果に関してスポーツ生化学の立場から理解を深め、健康や運動パフォーマンスの維持・増進のメカニズムを理解する。演習の最後に受講生の発表会を行い、教員と受講生の間で討議を行う。参考図書: 脳を鍛えるには運動しかない(NHK出版)、からだの中からストレスをみる(学会出版センター)、使えるスポーツサイエンス(講談社サイエンティ)	AT必修科目 OATP303と同一。 AT必修科目: オンライン(オンデマンド型)
01EH465	スポーツカウンセリング論	1	1.0	1	春AB	水2		坂入 洋右	カウンセリングの基本的な理論と技法を理解するとともに、スポーツ競技者や生徒や一般成人の心身の健康増進および競技や日常生活におけるパフォーマンスの向上を目的とした指導や援助の基本的技術を学ぶ。スポーツ競技者や生徒や一般成人の心身の問題の改善やパフォーマンス向上を目的とした心理的サポートとして、指導者や援助者に必要なカウンセリングの理論と方法を、健康心理学およびスポーツ心理学の最新の知見を踏まえて学ぶ。	AT必修科目 OATP204と同一。 AT必修科目: オンライン(同時双方向型)

コース科目(コーチングコース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH621	トレーニング学	1	2.0	1	春AB秋AB	木1		前村 公彦, 谷川 聡	スポーツトレーニングを推進するための適切な目標と課題の設定法、課題解決法や手段の選択・創造法、時間資源と時系列的な関連性を考慮した計画立案法、効果的なトレーニング実践法、トレーニング効果のアセスメント法に関する理論を理解し、高度なトレーニング実践を展開できる知を学習する。また、トレーニング学独自の学領域としてのオリジナリティーとその研究方法論について学んでいく。	AT必修科目 OAS0203と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH439	スポーツリスクマネジメント論	1	1.0	1	秋AB	火4		齋藤 健司	スポーツ活動におけるリスクマネジメント理論の応用を検討するとともに、スポーツ事故の法的責任、安全対策および事故防止策についての理解を深める。リスクマネジメントの枠組み、プロセスなどの理論とそのスポーツへの応用、体育・スポーツ事故の統計データと事故原因、突然死、頭部外傷、脳震盪、熱中症、溺水事故、自然災害などの原因と対策、中止基準、健康調査、スポーツ事故の法的責任、スポーツ施設の法的責任、免責同意書等の法的防御書類などについて、事故事例及び判例を交えて解説する。	OATP142と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH401	フェアプレイ論	1	1.0	1・2	秋C	木5,6		深澤 浩洋	フェアネスの歴史的概観やフェアプレイを奨励する運動を踏まえ、フェアプレイが主張される意味について、複数の価値観、道徳観から考察する。また、フェアプレイを奨励する運動に言及する。実際にフェアプレイに徹するスポーツパーソンを育成するにはどうしたらよいか、どのようにフェアプレイ教育を展開していけばよいかということについて考察し、自分なりの見解を論理的に展開できることを目標とする。 フェアネスの概念、スポーツのルールとエトス、フェアプレイの歴史、フェアプレイをめぐる問題の語られ方(個人と組織)、アンフェアの背景、フェアプレイキャンペーン、フェアプレイ奨励の方策、フェアプレイ教育の構想	OATP110と同一。 対面(オンライン併用型)
01EH577	スポーツ用具と動きのしくみ	1	1.0	1・2	春AB	金2		小池 関也	スポーツ用具の性能向上のためのしくみについて紹介するとともに、パフォーマンス実現のための動きのしくみ(メカニズム)について解説する。用具として、各種打具、シューズ、各種ボール、水着などを例に挙げ、パフォーマンスに関係する各種特性について、物理的な現象面あるいは生体力学的な視点から解説する。つぎに、スポーツ動作の各種分析手法を紹介したのちに、これらの分析手法を活用して得た各種動作の分析結果から、スポーツ動作における動きのしくみについて解説し、パフォーマンスの発揮メカニズムについて紹介する。	OATP403と同一。 オンライン(同時双方向型)
01EH531	スポーツ生理学特講	1	1.0	1	春AB	水2		武政 徹, 西保 岳, 藤井 直人	スポーツ、トレーニング及び健康増進に関わる骨格筋系、呼吸循環及び体温調節系の役割について理解するため、以下のキーワードに関連して解説する。 骨格筋系のキーワード: 重村式トレーニング法、筋肥大、遺伝子ドーピング、サルコペニア、冬眠、レーシングパフォーマンスを上げる遺伝子、老化を遅らせる運動 呼吸循環系のキーワード: ガス交換、酸素摂取量、血管調節、発汗調節、高地トレーニング、暑熱順化、水分調節	AT必修科目 OATP302と同一。 AT必修科目。オンライン(オンデマンド型)
01EH533	スポーツ栄養学特講	1	1.0	1・2	秋AB	月2		麻見 直美, 下山 寛之	時代に即したスポーツ・運動栄養学への理解を深めるために、運動(身体活動)、トレーニング、スポーツに関連した栄養、食生活、食事摂取基準、酸化ストレス、抗酸化ビタミン、エネルギー代謝、糖代謝、脂質代謝、タンパク代謝、骨(フィーマールアスリートトライアドを含む)、貧血、水分代謝、休養(睡眠・時差)などのトピックスを取りあげて、講義を行う。加えて、スポーツ栄養の今日的現場課題について問題理解と解決策検討について議論する。	AT必修科目 OATP304と同一。 AT必修科目。オンライン(オンデマンド型)

研究基礎科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH004	体育・スポーツ学分野研究方法論	1	1.0	1・2	秋AB	金2	5C416	深澤 浩洋, 清水 諭, 坂入 洋右, 仲澤 眞, 澤江 幸則, 國部 雅大, 大石 純子, 大林 太朗	人文社会科学の研究にとって必要な知識基盤として、様々な研究方法論の基礎を学習する。論文執筆のために必要な手順について理解し、人文社会科学の研究手法論について興味を持ち、理解するための基礎を自ら学んでいくことを目的とする。	OATP001と同一。 オンライン(オンデマンド型) 一部対面で実施する。

01EH011	研究ワークショップI	7	1.0	1	秋AB	月5	5C513	坂入 洋右,大蔵倫博,仙石 泰雄	スポーツ・健康科学領域における研究テーマについて、受講生各自が学会等において発表するために必要な知識と方法を、講義、演習、発表練習およびディスカッションを通して学ぶ。	対面
01EH013	研究基礎共通実習(PBL)	6	1.0	1・2	春AB	月5	5C212	清水 諭,片岡 千恵,野中 由紀,大林 太朗,松尾 博一	本授業は、日本国内および国際的な社会課題を発見し、体育・スポーツ・健康の分野から課題解決のためのプロジェクトを企画する過程を、グループでの協働作業を通して学ぶことを目的とする。授業は、チューターとしての教員と少人数のグループを構成する学生によって進められる。具体的にはまず、社会課題を整理するとともに、日本のスポーツ政策や東京2020大会レガシーについて共通理解する。そして、焦点を当てたい社会課題について各自が自分の意見を述べた後、グループ学習によってそれぞれの課題の解決に向けたプロジェクトを企画し、発表する。学生はこうした過程を通して、発言者の意図を理解し、グループの目的を達成するために効果的なコミュニケーションのあり方を学ぶ。	対面
01EH014	健康・スポーツ科学のための統計学	1	2.0	1・2	春C秋C	集中		角田 憲治,大蔵倫博	健康科学研究とスポーツ科学研究での実験と調査から得られるデータ分析の手法を実践し、数理モデルなどの理論を理解することを通して、研究データの統計分析の実践技能を養う。 基礎的および先端的な健康・スポーツ科学研究に用いる統計的分析法について概説する。	OATP012と同一。 対面
01EH143	健康・スポーツ科学のための英語上級	2	1.0	1・2	春AB	木1		ラクワール ランディープ	体育並びにスポーツ科学に関連した、より高度な英語の読解力並びに表現力を身につける。 (Objective of this course is to improve writing listening, and speaking ability in English in Physical Education and Sport Science at an advanced level.)	英語で授業。 対面
01EH016	つくばサマーズインスティテュート	1	2.0	1・2	春C	集中		佐藤 貴弘	筑波大学体育系と学術協定を結んでいる海外の大学と共同で企画する、英語を公用語とするプログラムである。体育・スポーツ領域にかかわる大学生・大学院生、若手研究者を対象とし、日本の体育・スポーツ文化を理解し、体育・スポーツ教育、スポーツ科学に関わる諸外国の現状と課題について情報を共有し、協力して国際的課題に取り組むグローバル人材として資質の向上を図ることをねらいとする。	
01EH024	International Sport Policy Studies(国際スポーツ政策研究)	1	1.0	1・2	春C	集中		永田 真一	本講義では、主に英国やヨーロッパにおける事例を紹介しながら、スポーツ政策の国際的動向について把握するとともに、それらの諸実践を分析するための理論的枠組みについて理解することを目的とする。具体的には、教員による講義および履修学生によるプレゼンテーションを通じて、開発と平和のためのスポーツ、エリートスポーツ、オリンピック・パラリンピックのレガシーなどに関わる政策を対象としながら、スポーツ政策の国際的動向と課題、そして今後の可能性について学修する。	OATP021と同一。 英語で授業。
01EH025	Advanced Coach Education(上級コーチ教育論)	1	1.0	1・2	春AB	水2		松元 剛,渡部 厚一,福田 崇	トレーニング方法、情報戦略、国際的動向など、指導者の質保障を多面的にとらえ、指導者育成の観点からコーチ教育について考える。	筑波開設科目。 OATP022と同一。 英語で授業。 オンライン(同時双方向型)
01EH026	Management and Organization(経営マネジメント論)	1	1.0	1・2	春C	集中		山口 拓	スポーツ国際開発学の理論と実践を概観し、国際的・社会的・文化的な課題解決に向けたスポーツによる取り組みを学ぶ。 講義では、特に開発課題に焦点化して、諸課題の特性と持続可能な平和的社会の実現に向けたスポーツの役割に関して討論形式で学ぶ。 更に、スポーツ国際開発(IDS)のマッピング、NGOでのIDS活動、組織マネジメント理論、ケース探索と理論的適応などを議論を踏まえて検討する。	OATP023と同一。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)
01EH027	Project Management(プロジェクトマネジメント論)	1	1.0	1・2	秋B	集中		山口 拓	開発援助の実践力を高めるべくロジックモデルを改変された「プロジェクト・サイクル・マネジメント」に沿った計画・評価の手法を学ぶ。 ・基礎講座:国際協力のトレンド、プロジェクトのPDCAサイクル ・実践講座:ケールスタディーを用いた実践的検討:プロジェクト・サイクル・マネジメント(PCM)、プロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)、評価・モニタリング手法	GS1棟301 OATP024と同一。 英語で授業。 対面

01EH028	JSC Seminar (JSCセミナー)	2	1.0	1・2	春秋ABC	随時	清水 諭, 和久 貴 洋, 勝田 隆	スポーツの推進に寄与するスポーツイノベーション人材を戦略的に発掘・育成する。日本スポーツ振興センターの持つ資源や事業を活用してスポーツ現場における組織間の越境学習を行い、人材育成ノウハウ、カスタマイズ型の育成プログラムを学ぶ。目標は、以下の通り。 1. 国際舞台において、「1」指導的役割(コーチング)や「2」スポーツ事業を企画・推進する役割(スポーツアドミニストレーター)を担う人材に求められる資質や能力を育成する。 2. グローバルかつイノベーション人材の発掘や育成、活用のために必要なシステムおよびプログラムなどについて実践的に学習する。プロジェクト会議、ワークショップ、カンファレンス企画及び開催、コンサルティング活動などを視察・支援するために不可欠な基礎知識や情報、物事の見方等を身につける。	日本語と英語による。 筑波開設科目。 OATP031と同一。
01EH029	JSC Project (JSCプロジェクト)	1	1.0	1・2	春秋ABC	随時	清水 諭, 和久 貴 洋, 勝田 隆	スポーツ界の最前線における多種多様な職務経験の機会を幅広い候補者に提供していく。日本スポーツ振興センターが保有する資源(各種受託事業、JISS、国際連携等)を活用することによって、パートナーシップ締結団体の組織の壁を越えた「越境学習」プログラムを遂行する。組織や人材の連携と協働、あるいは「スポーツ資源の開発」の基礎的経験を通して、「人の間」に入り尽力するために、自分自身の課題や将来構想のヒントを経営的な視点から整理できる能力を身につける。	日本語と英語による。 筑波開設科目。 OATP032と同一。
01EH030	On the Job Practice (Domestic)	3	2.0	1	春秋ABC	随時	清水 諭, 和久 貴 洋, 勝田 隆	日本スポーツ振興センターなどのスポーツおよび国際開発に関連する組織において4週間の研修を行う。 スポーツと国際開発に関連のある組織の活動に関わることにより、実践経験を積む。各自の興味関心、ニーズや強みなどの理解し、組織における事業の特徴や経営方針などを理解する。こうした学習を通して、受講生各自がキャリアプランを構築する。	日本語と英語による。 筑波開設科目。 OATP033と同一。
01EH032	Sport, Culture and Society (スポーツ・文化・社会)	1	1.0	1・2	秋AB	木1	清水 諭	スポーツ社会学における理論と実践的研究を基礎にして、スポーツを通じた国際開発と平和構築に関する批判的思考力を身につける。 スポーツと身体に関する具体的事例について討議を行い、権力の作用について学習する。IDS・SDPの理論について理解し、実践に関する批判的思考力を身につける。	筑波開設科目。 OATP041と同一。 英語で授業。 オンライン(同時双方向型)